

令和8年度 国語科 年間指導計画 第5学年

東広島市立高屋西小学校

学期	月	単元名	時数	単元の目標	他教科等との関連
前期	4	集めよう、よいところ	2	同じ考えを持つ相手と対話を続けて考えを広げることができる。	
		人物の心情を音読で伝えよう「おにぎり石の伝説」	5	登場人物の心情が変化していく様子を読み取り、音読で表現することができる。	
		漢字を使おう 1	1	4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。	
		図書館へ行こう	2	目的に応じて適切な本や資料を選ぶ必要があることを理解し、図書館を活用することができる。	
		知りたいことを聞き出そう	4	インタビューをして、自分の知りたいことを相手から聞き出すことができる。	総合
	5	敬語	2	敬語を理解し、相手や場面に応じて適切に敬語を使うことができる。	総合
		要旨をまとめ、自分の考えを伝えよう「インターネットは冒険だ」	5	文章の構成を確かめて要旨をとらえ、筆者の考えに対する自分の意見を伝え合うことができる。	
		漢字を使おう 2	1	4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。	
		情報のとびら：事実と考え	1	事実と考えなど、情報と情報との関係について理解し、文や文章を書くことができる。	社会、算数
		地域のみりよくを伝えよう	7	文章の筋道を立てながら、タウン誌の記事を書くことができる。	社会、理科
	6	漢字の成り立ち	2	漢字の成り立ちを理解することができる。	
		いにしえの言葉に親しもう	3	古文や近代以降の文語調の文章の言葉の響きやリズムに親しみ、音読したり暗唱したりすることができる。	
		物語の組み立てについて考えよう「世界でいちばんやかましい音」	5	物語の全体像を捉え、物語の中で大きく変化したことについて、考えたことを話し合うことができる。	
	7	漢字を使おう 3	1	4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。	
		思考に関わる言葉	1	思考に関わる言葉について理解し、意図に合った言葉を選んで文を書くことができる。	
		書き手の意図を考えよう「新聞記事を読み比べよう」	5	書き手が、記事の内容や見出し、写真に、どのような意図をこめているのかを考えることができる。	社会
		五年生の本だな	1	日常的に読書に親しみ、自分の興味に応じた本を選んで読むことができる。	
	8・9	未知へ	1	詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりし、想像したことが伝わるように工夫して音読することができる。	音楽
		心の動きを短歌で表そう	4	表現を工夫しながら、心が動いたことを短歌で表すことができる。	
		問題を解決するために話し合おう	6	意図を明確にしながら計画的に話し合っ、身の回りにある問題の解決方法を見つけることができる。	
9・10	漢字を使おう 4	1	4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
	物語のおもしろさを解説しよう「注文の多い料理店」	6	構成や表現の工夫を見つけ、物語のおもしろさを解説する文章を書くことができる。		
10	漢字を使おう 5	1	4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
	どうやって文をつなげればいいのか？	1	文と文とのつなぎ方について理解し、前後の文の関係が分かるように文や文章を書くことができる。		

後期	10	「文化を受けつぐ」ことについて考えよう「和の文化を受けつぐ」	6	筆者の言う「文化を受けつぐ」ということについて、ほかの情報を重ね合わせ、自分の考えをまとめて交流することができる。	社会、総合	
		情報のとびら：文章と図表	1	複雑な情報の整理の仕方や図表の効果的な活用法について理解し、話や文章に生かすことができる。	総合	
		和の文化を発信しよう	5	資料を効果的に活用しながら、和の文化のポスターを作ることができる。	総合	
	11	熟語の構成と意味	2	熟語の構成や使い方について理解することができる。		
		提案します、一週間チャレンジ	4	学校生活をよりよくするための取り組みやイベントを考えて、聞き手の印象に残るように提案することができる。	特別活動	
		和語・漢語・外来語	2	和語、漢語、外来語について理解し、使い方や印象の違いについて考えることができる。		
		人物像について考えたことを伝え合おう「大造じいさんとがん」	7	行動や会話などから大造じいさんの人物像を想像し、考えたことを伝え合うことができる。		
	12	漢字を使おう 6	1	4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
		心情を表す言葉	1	心情を表す言葉について理解し、意図に合った言葉を選んで文を書くことができる。		
		日本語と外国語	4	日本語と外国語を比べ、日本語の特徴に気づくことができる。	外国語	
		読書の世界を広げよう	2	読書マップを作成して紹介し合う活動を通し、自分の考えを広げ、読書生活を豊かにすることができる。		
	1	漢字を使おう 7	1	4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
		いにしえの人のえがく世界	3	古文とその解説文を読み、昔の人のもの見方や感じ方について、現代の自分たちと比べて考えをまとめることができる。		
		ロボットとの未来について考えよう「『弱いロボット』だからできること」	6	二つの文章を読み、ロボットとの未来について考えたことを話し合うことができる。		
		漢字を使おう 8	1	4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
		情報のとびら：考えのちがいを	1	対立する考えを持つとき、お互いが納得するための方法について理解し、学んだことを生かして文や文章を書くことができる。		
		どう考える？ もしもの技術	6	反対意見を予想しながら、自分の考えたことや伝えたいことを書くことができる。		
	2	方言と共通語	2	方言と共通語について理解し、場に応じた適切な言葉遣いをすることができる。		
		資料を見て考えたことを話そう	6	「食品ロス」に関する資料を関係づけながら、自分の考えを話すことができる。	社会、算数、理科、家庭	
		漢字を使おう 9	1	4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
	2・3	伝記を読んで感想文を書こう「手塚治虫」	5	伝記に描かれている人物の人物像を捉え、生き方についての考えをまとめることができる。		
	3	漢字を使おう 10	1	4年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
		わたしの文章見本帳	4	文章の種類に着目して、自分だけの文章見本帳を作ることができる。		
	年間授業時数		140			